

厚生労働省委託 医療系ベンチャー・トータルサポート事業 MEDISO

# Seeds Booster

MEDISO Medical Seeds Discover and Boost Program

募集要項

応募締切 | 2026/9/15(火) 23:59(日本時間)



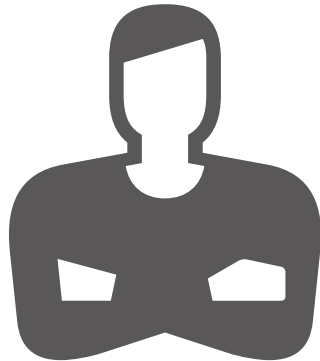
— 本プログラム概要

|             |                                                                    |
|-------------|--------------------------------------------------------------------|
| 名称          | Seeds Booster<br>(MEDISO Medical Seeds Discover and Boost Program) |
| 主催          | 厚生労働省 ※本プログラムは、厚生労働省の委託を受け、株式会社三菱総合研究所が運営します。                      |
| プログラム<br>期間 | 2026年10月～2027年2月（予定）                                               |
| 採択数         | 10者程度（予定）                                                          |

## — TPP<sup>1</sup>の作成・精緻化を通じて適切な研究開発計画・事業戦略の立案を目指します

Before

アカデミアが有する創薬シーズについて、  
実現化に向けた戦略・課題等が不明瞭



After

本プログラムを通じて課題を抽出・整理し、  
適切な研究開発計画・事業戦略を立案



<sup>1</sup> TPP(Target Product Profile)は事業開発のエントリーポイントであり、望ましい最終製品の特性、その使用目的、市場に関する明確なパラメータを規定する記述文書です。業界内外の利害関係者間のコミュニケーションを促進するツールとなります。

## — 5つの支援プログラムを実施し、TPPの作成・精緻化に取り組みます

|                               |                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 01<br>メンタリング                  | <div>オンライン</div> <div>現地</div> | <p><b>各種プログラムを最大限活用できるよう全期間にわたり伴走支援します</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- シーズの領域に合った専門家による約4か月の伴走的なメンタリングを実施し、TPPの作成・ブラッシュアップに係る支援やR&amp;D・ビジネスミーティング、米国プログラムへの参加に係る助言を実施します。</li> <li>- TPPの作成・精緻化を伴走支援するチームメンター及びチームメンターの専門外の内容に対して助言対応を行うスポットメンターが参画します。</li> </ul> |
| 02<br>教育セッション                 | <div>オンライン</div> <div>現地</div> | <p><b>創薬・事業化に必要な知識や考え方を体系的に習得し、実践の土台を構築します</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 創薬研究・事業開発等の基礎知識を学ぶセミナーセッションを複数回開催します。</li> <li>- 講師は、製薬企業経験者等を想定します。</li> </ul>                                                                                                          |
| 03<br>R&D<br>ミーティング           | <div>オンライン</div> <div>現地</div> | <p><b>医薬品開発の視点から、研究開発及びTPP・事業戦略案を精緻化します</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 現役の製薬企業所属者(複数企業)を含むエキスパートアドバイザーとのミーティングを行い、医薬品開発の目線から、基礎研究と創薬研究の間にあるギャップ等の指摘、TPPの内容に対するコメント、事業案への講評・フィードバックを実施します。<br/>※アドバイザーは秘匿性を担保するため、匿名で参加します。</li> </ul>                              |
| 04<br>ビジネス<br>ミーティング          | <div>オンライン</div> <div>現地</div> | <p><b>投資家の視点から、TPP・事業戦略案を精緻化します</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 現役のVC所属者(複数企業)とのミーティングを行い、投資家の目線からTPPや事業計画の妥当性、改善点等のコメント、事業計画に対する講評・フィードバックを実施します。</li> </ul>                                                                                                       |
| 05<br>米国<br>プログラム<br>(サンディエゴ) | <div>オンライン</div> <div>現地</div> | <p><b>海外展開に係る知識の習得に加え、海外投資家・事業開発関係者の視点から、TPP・事業戦略案を精緻化します</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 詳細は次頁を参照</li> </ul>                                                                                                                                                       |

### — 米国プログラムの詳細 | 米国現地で、事業化・実用化に向けた戦略策定を目指します



#### 現地の製薬企業や VC等との ディスカッション

本プログラムで作成した  
TPPを活用した対面形式  
のミーティングを行い、現  
地企業からのフィードバッ  
クを得ることで、事業戦略、  
事業化計画およびTPPの  
さらなるブラッシュアップ  
を図ります。  
※参加者ごとに1時間×2回を  
予定



#### 現地のエンジェル 投資家との 1on1ミーティング

将来的な資金調達や起業  
を見据えた実践的な議論  
を通じて、事業化に向けた  
助言や知見を得る機会を  
提供します。  
※参加者ごとに1時間×2回を  
予定



#### UC San Diegoが 提供するアントレプレ ナーシップ講座

米国の創薬エコシステムの  
最新動向や、グローバル展  
開に必要な知識・ノウハウ  
について学びます。



#### Biocom California主催 ”GPIC”への参加

バイオ・ライフサイエンス分  
野の企業、投資家等との  
ネットワーキング、1on1  
マッチングプラットフォーム  
を活用した商談・意見交  
換の機会を通じ、国際的な  
事業連携や将来的な事業  
展開の可能性を探ります。  
(2027年2月23日-26日)



#### 米国現地への 渡航費支援

海外渡航は現地集合・解  
散となります。本プログラ  
ムに関する一切の費用は  
応募者において負担いた  
だきますが、採択者に対し  
ては渡航費支援を行いま  
す。  
※詳細は「04 | 留意事項」をご  
確認ください。

※GPIC: [Global Partnering & Investor Conference - Biocom](#)

※内容は参加者募集時点での予定となります。プログラム自体もGPICの開催に合わせたスケジュール(GPICの前日からプログラム開始)となる見込みです。

— 10月1日のキックオフ後、2月下旬の米国プログラムに向け下記スケジュールで実施します

|              | 2026 |     |      |            |      | 2027 |               |
|--------------|------|-----|------|------------|------|------|---------------|
|              | 8 月  | 9 月 | 10 月 | 11 月       | 12 月 | 1 月  | 2 月           |
| 1. 公募        |      |     |      |            |      |      |               |
| ・ 公募 (-9/15) |      |     |      |            |      |      |               |
| ・ 審査         |      |     |      |            |      |      |               |
| ・ 採択者決定      |      |     |      |            |      |      |               |
| 2. プログラム     |      |     |      |            |      |      |               |
| ・ キックオフ      |      |     |      | 10/1(木) ※仮 |      |      |               |
| ・ メンタリング     |      |     |      |            |      |      |               |
| ・ 教育セッション    |      |     |      |            |      |      |               |
| ・ R&D ミーティング |      |     |      |            |      |      |               |
| ・ ビジネスミーティング |      |     |      |            |      |      |               |
| ・ 米国プログラム    |      |     |      |            |      |      | 2/22(月)~26(金) |

※スケジュールは参加者募集時点での予定であり、今後変更となる可能性があります。

### — 過去採択者 ※敬称略

#### 2025 年度

|        |                        |
|--------|------------------------|
| 竹下 勝   | 慶應義塾大学                 |
| 松本 征仁  | 順天堂大学                  |
| 吉岡 耕太郎 | 東京科学大学                 |
| 大槻 雄士  | 株式会社FerroptoCure       |
| 山本 誠士  | 富山大学                   |
| 立原 義宏  | 株式会社Theta Therapeutics |
| 村田 大紀  | 佐賀大学                   |
| 秋 美淑   | モルフェウス株式会社             |
| 谷村 明彦  | 北海道医療大学                |
| 小早川 拓也 | 東京科学大学                 |

#### 2024 年度

|       |                   |
|-------|-------------------|
| 斎藤 亮彦 | 新潟大学              |
| 小野田 晃 | 北海道大学             |
| 山田 幸司 | 東京慈恵会医科大学         |
| 寺 正行  | 東京農工大学            |
| 伊東 祐二 | 鹿児島大学             |
| 大槻 雄士 | 株式会社FerroptoCure  |
| 田中 義正 | 長崎大学              |
| 山本 誠士 | 富山大学              |
| 平 章人  | RMD Sciences, Inc |
| 田岡 和成 | 東京大学              |

## — 過去採択者の声

## “ 採択者A | 実用化を見据えた研究意識に変化

Q. Seeds Boosterへの応募のきっかけを教えてください。

A. 研究成果の社会実装には関心があったものの、実用化に向けた具体的な進め方が分からず、その道筋を学びたいと考え参加しました。

Q. 各プログラムに参加して、得られたものは何でしょうか？

A. [ R&Dミーティング ]  
製薬企業が求めるデータや、その取得に向けて検討すべき事項を理解する貴重な機会となりました。

[ ビジネスミーティング ]  
本ミーティングで得られたネットワークをきっかけに共同研究先が見つかり、実用化に向けた研究が大きく前進しました。

[ 米国プログラム ]  
実用化に向けて優先的に検討すべき事項や開発費用の見積もり等、現地投資家からの率直な助言を得ることができました。

Q. プログラムに参加した後、どのような変化がありましたか？

A. 投資家からのフィードバックを通じて、論文発表を中心とした研究志向から、実用化・事業化を見据えた研究へと意識が大きく変化しました。

## “ 採択者B | 積極的な対話が海外展開への第一歩に

Q. Seeds Boosterへの応募のきっかけを教えてください。

A. 日本のライフサイエンス分野で、研究成果を海外展開するには、海外の投資家や製薬企業との接点を持つことが不可欠であると考え参加を決めました。

Q. 各プログラムに参加して、得られたものは何でしょうか？

A. [ メンタリング ]  
マイルストーンが明確になり、米国プログラムに向けた準備を計画的に進めることができました。

[ 米国プログラム ]  
知識豊富なVC、製薬企業、起業家とのコミュニケーションを通じて、シーズの要点が明確になるとともに、実用化に向けた取組が大きく前進しました。  
また、投資家向けのプレゼンテーションでは、学会発表とは異なる視点や伝え方が求められることを実感し、投資家目線でのピッチの重要性を学ぶことができました。

Q. プログラムに参加した後、どのような変化がありましたか？

A. 数多くの投資家に対して限られた時間でシーズの魅力を端的に伝え、ネットワークを広げる実践的なスキルやマインドセットが身に付きました。

## — 本プログラムへの応募者は、応募時点で5つの応募資格全てを満たすことが求められます

|         |                                                                                                                                                                             |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 応募資格 01 | 医薬品・再生医療等製品等の製品開発を目指す、アカデミア所属の研究者であること。                                                                                                                                     |
| 応募資格 02 | 保有するシーズについて下記の3点が明確に提示できること。 <ul style="list-style-type: none"><li>- モダリティ(低中高分子・遺伝子・細胞等)</li><li>- 治療標的(分子・遺伝子・疾患等)</li><li>- 治療標的の制御方法(標的の抑制／亢進・遺伝子抑制・細胞による補助等)</li></ul> |
| 応募資格 03 | 参加者自身が英語によるコミュニケーションを円滑に行えること。                                                                                                                                              |
| 応募資格 04 | 「参加規約」を遵守すること。                                                                                                                                                              |
| 応募資格 05 | 反社会的勢力、あるいはそれに関わる者との関与がないこと。                                                                                                                                                |

— ～9月下旬(予定)までに、書類審査を通じて採択者10者(予定)を決定します

### 応募締切

2026年 **9月14日(月)**  
※23:59(日本時間)

応募フォームへの入力後、  
提出資料をアップロード

### 書類審査

2026年 **9月下旬**

提出資料をもとに、  
書類審査を実施

- \*1 必要に応じて、事務局より応募内容に関する問い合わせを行うことがあります。
- \*2 選定に伴うオンラインでの面談を実施する可能性があります。

### 採択者決定

2026年 **9月下旬**

採択者10者(予定)を決定

\*1 審査結果は、応募フォームに入力いただいたメールアドレス宛に通知します。

※スケジュールは参加者募集時点での予定であり、今後変更となる可能性があります。

## — 5つの審査基準に基づいて、書類審査を行います

|         |                                              |
|---------|----------------------------------------------|
| 審査基準 01 | 保有するシーズの必要項目3点の明確性<br>(モダリティ、治療標的、治療標的の制御方法) |
| 審査基準 02 | 技術の優位性                                       |
| 審査基準 03 | 実用化の実現可能性                                    |
| 審査基準 04 | 成長可能性                                        |
| 審査基準 05 | 本プログラムへの参加により実現したいことの明確性                     |

## — 応募締切までに ~Step 3 までを完了してください

### Step 1

#### 提出書類2点を作成

※公募ページからダウンロードして、  
必要情報を全て記入してください。

##### ① エントリーシート(Excelファイル)

- ファイル名は「所属機関名\_エントリーシート」として提出ください。

##### ② 応募様式(Wordファイル)

- ファイル名は「所属機関名\_応募様式」として提出ください。
- 以下の記載内容を含め、1枚以内で自由に記載ください。

##### 1. 保有シーズの説明

##### 2. 医薬品としての開発イメージ

※「モダリティ」「治療標的」「治療標的の制御方法」を含めて記載ください。

##### 3. 本プログラム参加の目的・期待

### Step 2

#### 応募フォームを送信

- 応募フォーム(こちら)より必要事項を入力の上、送信してください。
- 応募フォームに登録いただいたメールアドレス宛に自動メールが送信されます。

※送信から1時間以上経過しても自動返信メールが届かない場合、まずは迷惑メールフォルダをご確認ください。迷惑メールフォルダにも無い場合、事務局までお問合せください。

### Step 3

#### 提出書類をアップロード

- メール本文に従い、提出書類2点を1つのフォルダにまとめ、提出用フォルダ(Dropbox)に、アップロードしてください。
  - フォルダ名は「所属機関名\_応募者氏名.zip」として提出ください。
- 2点の書類を全て提出して応募完了となります。

※応募フォームを送信しても、書類の提出が無かった場合は審査対象外になります。

※応募フォーム、Dropboxにアクセスできない場合は「05.問い合わせ先」までご連絡ください。

※提出資料に不備(記載漏れ・提出漏れ・拡張子違い等)があった場合には、審査対象外(失格)となる場合がございますので、十分ご注意のうえ余裕をもってご提出ください。

※資料の内容は必ずノンコンフィデンシャルな情報としてください。

### 参加規約 ※必ず下記を熟読・同意のうえ、プログラムへご応募ください。

- 参加者は原則として、参加する各プログラムにて期間中に実施・開催されるメンタリングや教育セッション、各種ミーティング等の全てのプログラムに参加すること。
- 本プログラムの参加者は、本プログラムの趣旨・目的を十分に理解し、最後まで積極的にプログラムに取り組むとともに、各種提出物・情報提供をはじめとしてプログラムの事業運営に協力すること。
- 本プログラムへの参加は、応募した研究室所属者および共同研究者、共同創業者(予定を含む)、支援者(大学ARO、産学連携部門、等)に限る。ただし、事務局の許可がある場合はこの限りではない。なお、プログラムを通して同一の方の参加を推奨する。
- 本プログラム参加者は、本プログラムに採択された者として、大学・研究室名及び取組概要等の情報を事務局が公開することを承諾すること。
- 本プログラム期間中、事務局が実施する各種アンケート等に協力すること。
- 本プログラム終了後、プログラムに関連して厚生労働省が実施する各種調査等に協力すること。
- 本プログラムへの参加に際して知り得た情報(事務局や連携機関、他の参加者に関わる情報)を外部に漏らさないこと。ただし、公知の情報はこの限りではない。プログラムの参加に当たっては、秘密保持義務等を定めた誓約書を事務局に提出すること。
- 本プログラムは公的な支援プログラムであることを理解し、本プログラムへの参加者となったことにより、事務局やその委託元の厚生労働省および各連携機関等の関係者から、参加者の技術の評価や法律上の適合性の担保が行われているかのような標榜を行わないこと。
- プログラム開始後を含め、本プログラムへの参加が不適切である事由が明らかとなった場合、又は本プログラムの円滑な運営に困難をきたす可能性があるとして事務局が判断した場合、事務局の決定に基づいて本プログラムへの参加を中止させることがあることを承諾すること。

### 留意事項 ※必ず下記を熟読・同意のうえ、プログラムへご応募ください。

- 締切日時を経過しての応募申請は、如何なる理由でも受け付けできません。
- 本応募要領に示された様式以外での応募は、認められません。
- エントリーシートの必要事項に空欄などの不備がある場合は、審査の対象となりません。
- 提出された書類に虚偽の内容が確認された場合、応募は無効となりますのでご注意ください。
- 同一応募者による複数の応募は認めません。
- 応募資料、および本プログラムへの参加にあたって応募者が開示または提出する情報や資料は全てノンコンフィデンシャルな情報に限定してください。参加者が事務局および本プログラムの連携パートナー機関へ開示する情報や、本プログラムを通じて一般公開される情報は、参加者の責任の下で開示してください。特に、知的財産の取扱いには十分に留意してください。
- 選考状況・選考結果等に関する個別のお問い合わせには、一切お答えできません。
- 本プログラムは、応募者の皆様ご自身による事業化や事業展開の可能性を支援することを目的としています。本プログラムへの参加により、事業化の確約や応募者に何らかの利益が生じることを確約したり保証したりするものではありません。
- 本プログラムは一部、英語での実施となります。通訳はつきません。本プログラムの渡航に際して必要となる渡航書類(旅券(パスポート)、電子渡航認証 等)は、応募者において準備及び手配いただきます。本プログラムの主催、運営事務局、及びパートナー機関関係者は、渡航書類の準備及び手配に関して一切のサポートを提供いたしません。
- 本プログラムの開催スケジュールや内容等は変更になる場合があります。
- 本プログラムの運営には万全を期しますが、万一これらに誤り等があり、応募者がこれらを実施すること等により、応募者に何らかの損害や損失が生じた場合でも、本プログラムの主催、運営事務局、およびパートナー機関関係者は一切の責任を負いません。
- **本プログラムに関する一切の費用は、応募者において負担していただきます。**
- **ただし、渡航費支援として、本プログラムで実施する海外渡航にかかる費用について、宿泊費・交通費(航空券代含む)を支援します。参加するプログラムによらず、支援は1採択あたり上限 500,000円(税込)です。**

— 本プログラムに関してご質問・ご相談がございましたら、遠慮なくお問い合わせください

〔 問合せ先 〕

厚生労働省委託

「医療系ベンチャー・トータルサポート事業」事務局

株式会社三菱総合研究所

〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号

E-mail: [info-seedsbooster@ml.mri.co.jp](mailto:info-seedsbooster@ml.mri.co.jp)

# Seeds oster